

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

(平成26年8月豪雨災害における消防団の災害出動)

名 称	福知山市消防団
所在地	京都府福知山市
代表者	かたおか こうき 団 長 片 岡 幸 基
功績の概要	同消防団は、平成26年8月16日から17日にかけて日本列島に停滞した前線がもたらした局地的な豪雨に際し、2日間にわたり、延べ1,592名が出動した。降り続く豪雨と内水氾濫による浸水という極めて危険な状況のもと、昼夜にわたり土嚢積み等の水防活動を行うとともに、内水氾濫により孤立した118名の住民を救助用ボートにより無事救出した。また、避難広報、避難誘導、警戒巡視を行い、人命および財産の被害拡大ならびに二次災害の防止に多大な貢献をした。

(平成26年台風第12号及び第11号における消防団の災害出動)

名 称	日高村消防団
所在地	高知県高岡郡日高村
代表者	やの たかあき 団 長 矢 野 孝 明
功績の概要	同消防団は、平成26年8月台風第12号及び台風第11号の集中豪雨に際し、4日間にわたり、延べ274名が出動した。豪雨により主要幹線道路を含む広大な範囲が水没した危険な状況の下、土嚢積み等の水防活動のほか、内水氾濫による孤立者の救出救援活動や土砂崩れへの対応など多岐にわたる防災活動を行い、被害の軽減に多大な貢献をした。

名 称	いの町消防団
所在地	高知県吾川郡いの町
代表者	べっちゃん たかお 団 長 別 役 隆 雄
功績の概要	同消防団は、平成26年8月台風第12号及び台風第11号の集中豪雨に際し、4日間にわたり、延べ607名が出動した。降り続く豪雨という極めて危険な状況の下、昼夜にわたり土嚢積み等の水防活動を行うとともに、住民の避難誘導、人命救助活動、広報活動、障害物除去活動などを行い、一人として人的被害を出さず、被害の軽減に多大な貢献をした。

(平成26年8月広島市の土砂災害における災害対策活動)

名 称	緊急災害対策派遣隊
所在地	東京都千代田区
代表者	中国地方整備局企画部 防災課長 えすみのぶよし 江 角 信 良
功績の概要	同派遣隊は、平成26年8月に発生した広島土砂災害に際し、発災当日から活動を開始し、約1ヶ月にわたり、延べ2,476名が出動し、土砂や流木などが山積するとともに、土石流などの二次災害の恐れがある過酷な状況のなかで、土石流危険渓流の緊急点検及び危険度評価を短期間で行うとともに、捜索活動のための安全点検や降雨後の作業再開に関する技術的助言など、警察、消防、自衛隊の捜索活動の支援や市街地に堆積し、復旧や捜索の妨げとなっていた大量の土砂等を24時間体制で撤去を行うことにより、被災地の早期復旧に向け多大な貢献をした。

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

(平成26年台風第8号における土砂災害及び長野県神城断層地震における災害活動)

名 称	長野県砂防ボランティア協会
所在地	長野県長野市
代表者	お さ か ひ さ お 会 長 尾 坂 壽 夫
功績の概要	同協会は、平成26年台風第8号に伴う豪雨による南木曾町梨子沢流域の土砂災害に際し、9名が出動し、流出土砂等により現地への到達が困難な状況下において、土石流が発生した周辺の流域の緊急点検を行った。 また、平成26年11月に最大震度6弱を記録した長野県神城断層地震に際し、6日間にわたり、延べ44名が出動し、地震により道路が寸断され、現地への到達が極めて困難な状況下において、土砂災害危険箇所の緊急点検を行った。 点検結果は長野県の二次的な危険箇所把握や応急対応及び市町村の警戒避難体制の構築に役立てられ、地域住民の生命・身体の保護に多大な貢献をした。

(平成26年8月広島市の土砂災害における二次災害防止活動)

名 称	砂防ボランティア広島県協会
所在地	広島県広島市
代表者	た か は し ひ で あ き 会 長 高 橋 秀 彰
功績の概要	同協会は、平成26年8月広島市を襲った集中豪雨に伴い同時多発的に発生した大規模土砂災害に際し、5日間にわたり、延べ12名が出動し、流出土砂等により現地への到達が困難な状況下において、がけ崩れ崩壊箇所の現地調査を行い、危険箇所を把握した。調査結果は広島県へ報告され、その後の応急対策に役立てられるなど、地域住民の生命又は身体の保護に多大な貢献をした。

団体 [防災思想の普及]

名 称	立山砂防女性サロンの会
所在地	富山県富山市
代表者	お ば た の り こ 会 長 尾 畑 納 子
功績の概要	同会は、平成13年に結成されて以来、様々な講師を招いて砂防に関する講演会(年1回)や富山県内の女性団体を対象とした立山カルデラ視察見学会(年1回)を開催し、女性の立場から地域に対する土砂災害防止意識の向上、砂防事業の重要性の啓発に大きく貢献している。 会員の土砂災害防止に関する意識は高く、会員対象の立山カルデラ現地視察見学会(年1回)、富山県近隣の砂防視察(年1回)、海外視察研修(年1回)を行っており、各地で開催されるフォーラム・シンポジウム等に積極的に参加し、上記の活動を通じて学んだ知識を発表するなど砂防に関する情報発信を行っている。また、不定期で勉強講演会、研修会などを開催しており、防災思想の普及に多大な貢献をした。

団体 [災害現場での顕著な救助活動]

(平成27年9月関東・東北豪雨における人命救助活動)

名 称	第三管区台風十八号に係る大雨災害対策本部
所在地	神奈川県横浜市
代表者	第三管区海上保安本部 長 み や の な お あ き 宮 野 直 昭
功績の概要	同対策本部は、平成27年9月関東・東北豪雨に際し、第三管区海上保安本部に「第三管区台風十八号に係る大雨災害対策本部」を設置し、羽田航空基地及び他管区からの派遣を受けた回転翼航空機計5機に特殊救難隊及び機動救難士を同乗させ現地に派遣した。住宅街特有の障害物がある特殊な状況での活動及び夜間の救出活動を行った結果、2日間で99名を救出した。孤立した病院や、水位が上昇する急迫した危険がある中で、車両に取り残された被救助者等の救助活動に従事するなど、被害の軽減に多大な貢献をした。